



## 【韓国】 総合指数は 4.9%高と反発、今週は旧正月で 3 日間のみ取引

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 4.9%高と反発した。1 日に発表された 1 月の貿易統計で、輸出が前年同月比 11.4%増の 480 億 1000 万米ドルとなり、伸び率が市場予想の 9.8%を上回ったことで、韓国の景気が回復基調にあるとの見方から投資家心理が改善。指数は 3 日に節目の 3100 ポイントを回復した。4 日は中国の流動性に対する懸念から 4 日ぶりに反落し、節目を下回ったものの、米株高を受けて 5 日に再び 3100 ポイントに乗せた。個別では現代自動車傘下の起亜が 3 日に一時 14.5%上昇。今月半ばにも米アップルと提携で合意する可能性があるとの報道が材料視された。今週は 11-12 日が旧正月（ソルラル）で休場のため、3 日間の取引となる。連休を前に持ち高調整の動きが強まりそうだ。経済指標は 9 日に失業率が発表される。

▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は 4.7%高と 3 週ぶり反発、今週も欧米株価をにらんだ展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 4.7%高と大幅に 3 週ぶりに反発。原油高、海外株高、ルーブル高を追い風に反発し、前週の下落幅を取り戻した。前週に 3.6%安と大幅に続落した RTS 指数は週明け 1 日は小幅に続落したが、2 日は 2.6%高と大幅に 5 営業日ぶりに反発。ブレント原油が 2.5%超上昇したことや主要国でのワクチン普及の見通し、米国の追加経済対策への期待などからセンチメントが改善した。週後半も原油高や海外株高、対ドルでのルーブル高を追い風に続伸し、指数は 1 月 21 日以来の水準を回復して終了した。個別ではエネルギーのノバテックが 8.8%高、ルクオイルが 6.3%高となったほか、時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが 5.3%上昇し、指数を押し下げた。今週も欧米株価や原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



## 【ベトナム】 ベトナム指数は 6.7%高と大幅に 3 週ぶり反発、今週はリスクオンが続

くか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 6.7%高と大幅に 3 週ぶりに反発。米国の経済対策への期待を背景に前週までの大幅続落で押し目買いが強まった。前週に 9.4%安と急落した指数は週明け 1 日に前営業日比 2.0%安となったが、2 日は 3.9%高と大幅反発。米政権による巨額コロナ対策法案の成立期待でセンチメントが改善する中、押し目を拾う動きが強まった上、ドル安を背景に海外からの資金流入も続いた。指数は 3 日も 3.3%高と大幅に続伸し、結局 5 日まで 4 日続伸。1126.91 ポイントと 1 月 26 日以来の水準を回復した。個別では、金融のベトインバンク、テコムバンク、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が 2 桁高となり、鉄鋼のホア・ファット・グループが 8.6%上昇した。今週はセンチメントの改善を背景にリスクオンが続くか。

▼指数チャート





## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.9%高、20年のGDPは1998年以來のマイナス成長**

ジャカルタ総合指数は週間で4.9%高と3週ぶりに反発。前週の反動で買い戻され、1週間を通じて終値で6000ポイント台を維持した。週初の1日は、金融株が指数上昇をけん引し、前営業日比3.5%高と8日ぶりに反発。2日は反落したが、その後はじりじりと上値を広げた。5日は20年10-12月期のGDPが前年同期比2.2%減と市場予想をわずかに下回り、通年では2.1%減と1998年以來のマイナス成長に落ち込んだものの影響は軽微で、3日続伸している。今週は国内の経済イベントが少なく、パウエルFRB議長の講演や英GDP速報値などの外部要因が指数を左右する展開か。12日は旧正月のため休場。

### ▼指数チャート

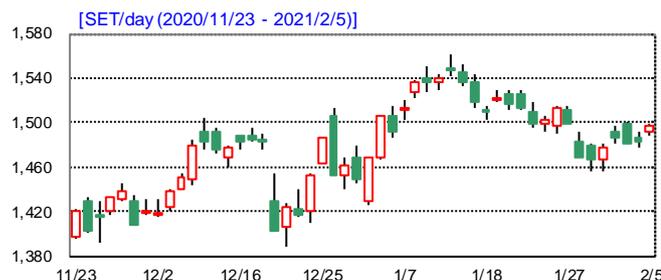


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.0%高、今週は終値で1500ポイント回復に期待**

SET 指数は週間で2.0%高と4週ぶりに反発。好地合いの中、じりじりと上値を広げた。週初の1日は、中国の1月の公式製造業PMIと財新製造業PMIが50ポイント台を堅持し、中国株が上昇した流れで買い優勢となり、指数は4営業日ぶりに反発。2日に続伸した後、3日は場中に一時、1500ポイント台に乗せたものの、中央銀行が定例会合後の声明で、景気の下振れリスクに対する警戒感を示したことが売り材料視され、終値では3日ぶりに反落した。ただ、週後半は堅調で4-5日は上昇している。今週は国内の経済イベントが少ない中、終値で1500ポイントを試す展開か。12日は旧正月の祝日のため休場。

### ▼指数チャート



## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は0.2%高、1月の製造業PMIは50.7と堅調**

ストレーツタイムズ指数は週間で0.2%高と3週ぶりに反発。週初に終値で2900ポイントを割り込んだが、その後はおおむね堅調な値動きだった。1日は前週末のNYダウが大幅反落した流れで3営業日続落した一方、2日に買い戻されると、3日は前日のNYダウが上昇した効果で続伸。2日の取引終了後に発表された1月の製造業PMIは50.7と前月を小幅に上回った。週後半は4日に利益確定売りで3日ぶりに反落したが、5日は20年12月の小売売上高が前年同月比3.6%減と前年割れが続いたものの影響は小さく、指数は小幅に反発した。今週は11日が旧正月前日のため半日立ち合い、12日は休場となる。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は0.8%高、今週は11日に20年10-12月期のGDP発表**

クアラルンプール総合指数は4日間の取引で0.8%高と4週ぶりに反発。小幅なレンジでの値動きが続いた1週間だった。連休明けの2日は、エネルギー株とゴム手袋メーカー株が指数上昇をけん引して反発。3日に続伸した後、4日はムヒディン首相が新型コロナウイルスのワクチン接種を今月末から段階的に開始する計画を明らかにしたことが買い材料となった。ただ、5日は4日ぶりに反落して引けている。今週は8日の20年12月の鉱工業生産に続き、11日には10-12月期のGDPが発表される予定で、内容次第で株式相場の追い風になりそうだ。11日は旧正月前日のため半日立ち合い、12日は休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。